

新刊案内

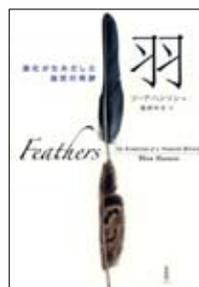


「どんぐりむらの
どんぐりえん」
なかや みわ/さく



「おにいちゃんといもうと」
シャーロット・ゾロトウ/文
はた こうしろう/絵

一神教の起源 -----	山我哲雄	イタリア・ルネサンス原色再現図鑑 --	大友義博 監修
クロスロード・オキナワ -----	鎌倉英也(他)	アナウンサーの日本語論 -----	松平定知
実験マニア -----	山田暢司	図書館の魔女 (上・下) -----	高田大介
コンクリート崩壊 -----	溝淵利明	恋しくて -----	村上春樹 編訳



「 自然の驚異 」

今年の夏はマイマイガの大量発生に驚かされましたが、その原因はよく分からないようです。今月は、自然の驚異に挑んだ本を紹介します。

ソニア・ハンソン『羽ー進化が生み出した自然の奇跡ー』。羽はどのように進化し、利用されてきたのか？羽毛恐竜の化石や飛行機の翼、アポロ15号の羽実験、羽ペンなど、進化・断熱・飛行・装飾・機能の面から謎多き羽の世界を探究します。

NHKスペシャル「深海プロジェクト 取材班(他)『ドキュメント 深海の超巨大イカを追え!』」。昨年夏、世界で初めて生きたダイオウイカの撮影に成功したプロジェクトの10年以上にわたる苦難の道のりが明かされています。高視聴率を記録したNHK番組の公式ドキュメント本です。

郡司ベギオ・幸夫『群れは意識をもつー個の自由と集団の秩序ー』。数万羽からなるムクドリは、まるで一つの巨大な生き物のように大空を猛スピードで飛び回ります。動物の群れは、なぜ統率のとれた行動が可能なのか。神経細胞の集団と動物の群れの違いや、群れが持つ集団の知性、知能の正体の探求などに多くの科学者は魅了されてきました。本書ではそうした知見を詳しく解説するとともに、西表島のカニの集団行動をめぐる著者たちの研究から、個と集団の微妙な関係性に新たな光を当てます。

11月の休館日

11日(月)、18日(月)、22日(金)、25日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

平成26年3月16日(日)午後1時30分から、セラトピア土岐・和展示室で「第2回 読み聞かせフェスティバル」を開催します。

図書館などで活動している読み聞かせボランティアが日頃の成果を発表します。読み聞かせのほかペープサート(紙人形劇)やパネルシアター、紙芝居などであなたも出演してみませんか。詳しくは図書館まで問い合わせください。